

2023年1月20日

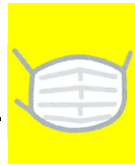
蔵書紹介「世界で一番素敵な教室&ビギナーズ・クラシックス」シリーズ

江戸取図書館便り 1月2号



しょうがつ

— 正月 (いちがつ むつき) —



だいかん
*1月20日「大寒」 *1月25日「日本最低気温の日」

「流れゆく大根の葉の早さかな」(高浜虚子)

「冬ながら空より花の散りくるは雲のあなたは春にやあるらむ」

きよはらのふかやぶ
(清原深養父『古今和歌集』巻6・冬歌)



写真左「二股の大根をひっくり返せば兎かな」。千葉県「道の駅」(15日)で見つけました。大根(だいこん・だいご・おおね)は、冬の季語です。根(白いところ)は煮物(おでん)がおいしいですね。葉も食べます。「流れゆく」の作者は、この句について「小川を流れゆく水をながめていると、大根の葉が非常な早さで流れ去っていたのであった。この様子を見た瞬間に、今まで心の中にたまりつつあった感興、面白みを感じる思いが一気に高まり、一句として結実した」と述べているそうです。写真中「冬の朝空」(19日7:48)、右「冬の夕富士」(12日16:41)*「冬ながら」の歌は、「冬なのに空から花が散ってくるなら、雲の向こうは今頃春であろうか?」という意味です。春はまだ来ない! *二十四節気「大寒」です。「日本最低気温の日」(記念日)は、氷点下41.0度(1902年1月25日北海道旭川市観測記録)です。

「第三回江戸取図書館POP大賞」受賞式

1月26日(木) 15:30から図書館で行います



*『世界でいちばん素敵な教室』シリーズ(三オプックス)は、美しい写真を眺めるうちに様々な知識が身につきます。バラバラとめくってみましょう!
*『ビギナーズ・クラシックス、日本編』(角川ソフィア文庫)は、古典の入門書です。現代語訳付きで解説しています。大雑把に全体像をとらえてみてはいかがでしょうか?